

1 調査名称：高岡市総合交通戦略策定調査（計画策定）

2 調査主体：高岡市

3 調査圏域：高岡市全域

4 調査期間：平成 25 年度

5 調査費：5,691 千円（当年度までの合計：5,691 千円）
（街路事業調査 都市・地域総合交通戦略策定調査）

6 調査概要：本市が今後目指すべき交通について、まちづくりと一体的に構想し、本市の公共交通の基本計画として、具体的施策としてとりまとめる「高岡市総合交通戦略」を策定する。
本戦略では、交通とまちづくりの長期的ビジョンを整理し、その実現に必要な交通サービスの方向性、将来目標を設定するとともに、将来目標を実現するための施策や事業プログラム並びにその推進体制についてとりまとめる。あわせて、詳細検討により実現性の判断等が必要となる施策について課題整理や費用対効果などの検証等を行う。

I 調査概要

1 調査名：高岡市総合交通戦略策定調査（計画策定）

2 報告書目次

はじめに

第1章 高岡市総合交通戦略について

- 第1節 戦略の目的
- 第2節 戦略の位置づけ
- 第3節 戦略の策定経緯
- 第4節 戦略の対象区域
- 第5節 戦略の計画期間

第2章 現状と課題の整理

- 第1節 高岡市の概況
- 第2節 交通の現状
- 第3節 産業活性化の視点による現状と課題
- 第4節 市民生活の視点による現状と課題
- 第5節 歴史・文化の視点による現状と課題
- 第6節 高岡市における交通の現状と課題

第3章 戦略の基本理念・基本方針

- 第1節 目指すべき将来像
- 第2節 理念・基本方針

第4章 具体的な施策パッケージ

- 第1節 【戦略1】都市の成長を高める広域交通体系の構築
- 第2節 【戦略2】市内を円滑に移動できる交通体系の構築
- 第3節 【戦略3】安全・安心な交通環境とサービス水準の向上
- 第4節 【戦略4】公共交通を利活用するライフスタイルへの転換

第5章 戦略の進行管理

- 第1節 実施プログラム

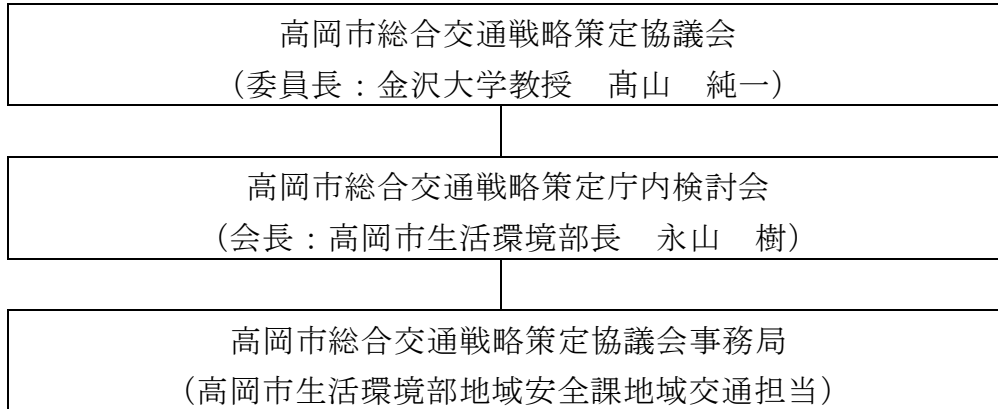
第2節 評価指標

第3節 推進体制

第4節 施策展開のマネジメント

巻末資料 高岡市総合交通戦略策定協議会 委員名簿

3 調査体制



4 委員会名簿等

高岡市総合交通戦略策定協議会委員名簿

	所属	氏名	分野
委員長	金沢大学理工研究域環境デザイン学系教授	高山 純一	学識経験者
副委員長	富山国際大学現代社会学部教授	長尾 治明	学識経験者
副委員長	京都大学大学院工学研究科准教授	神田 佑亮	学識経験者
委員	高岡市連合自治会長	杉江 幸男	市民代表
	高岡商工会議所専務理事	荻原 隆夫	経済団体
	西日本旅客鉄道(株)金沢支社企画課長	塚本 大輔	交通事業者
	加越能バス(株)自動車部長	新庄 一洋	交通事業者
	万葉線(株)代表取締役専務	山田 三博	交通事業者
	富山県タクシー協会高岡ブロック会会長	渡辺 守人	交通事業者
	国土交通省北陸地方整備局都市・住宅整備課長	橋口 真依	国
	国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局長	小林 勝吉	国
	国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所長	氏家 清彦	国・道路管理者
	富山県知事政策局総合交通政策室課長	今村 慶展	県
	富山県土木部都市計画課長	中川 直人	県
	富山県土木部高岡土木センター所長	御器谷 正人	県・道路管理者
	富山県警察本部高岡警察署交通官	奥田 吉広	警察
	高岡市都市整備部長	高木 邦昭	市
高岡市生活環境部長	永山 樹	市	

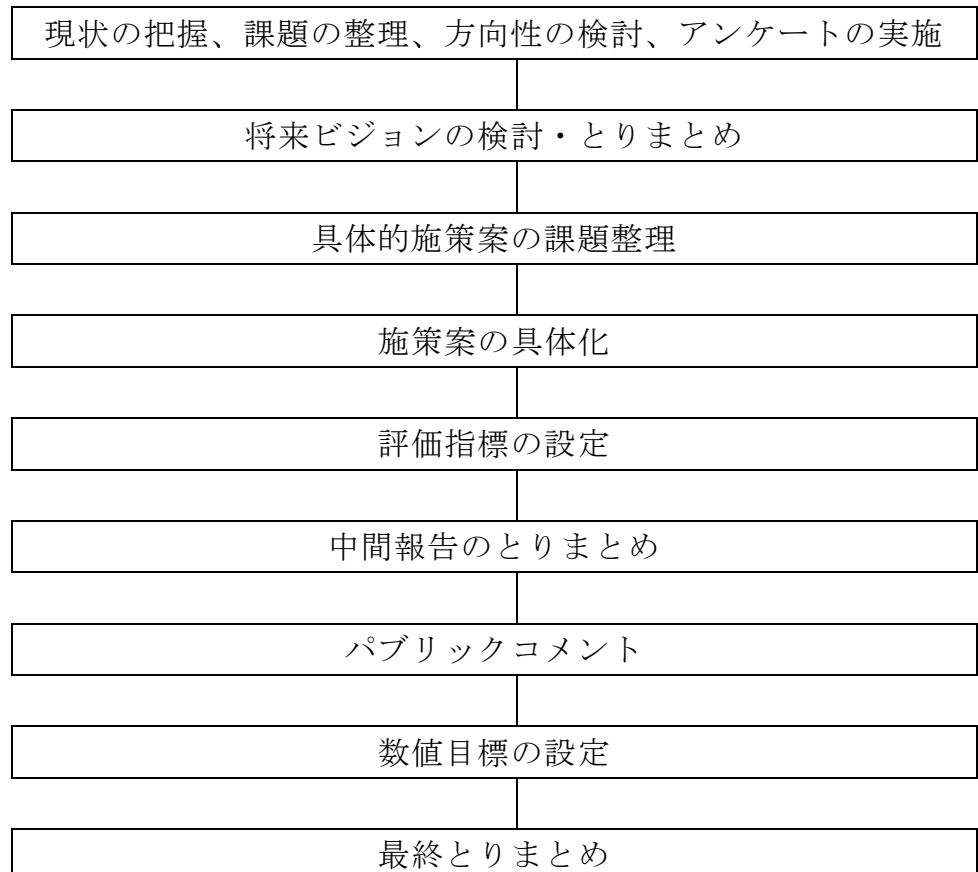
II 調査成果

- 1 調査目的：近年の急速な人口減少や少子高齢化をはじめとする社会経済情勢の変化に対応すべく、コンパクト集約型都市構造への再編が急務であり、これを支える公共交通の重要性はますます高まっている。また、モータリゼーションの進展により自動車への依存が高まるなか、歩行者、自転車、公共交通との適正分担を図り、安心・安全で利便性の高い交通を実現するため、総合的な都市交通の戦略の策定が求められている。

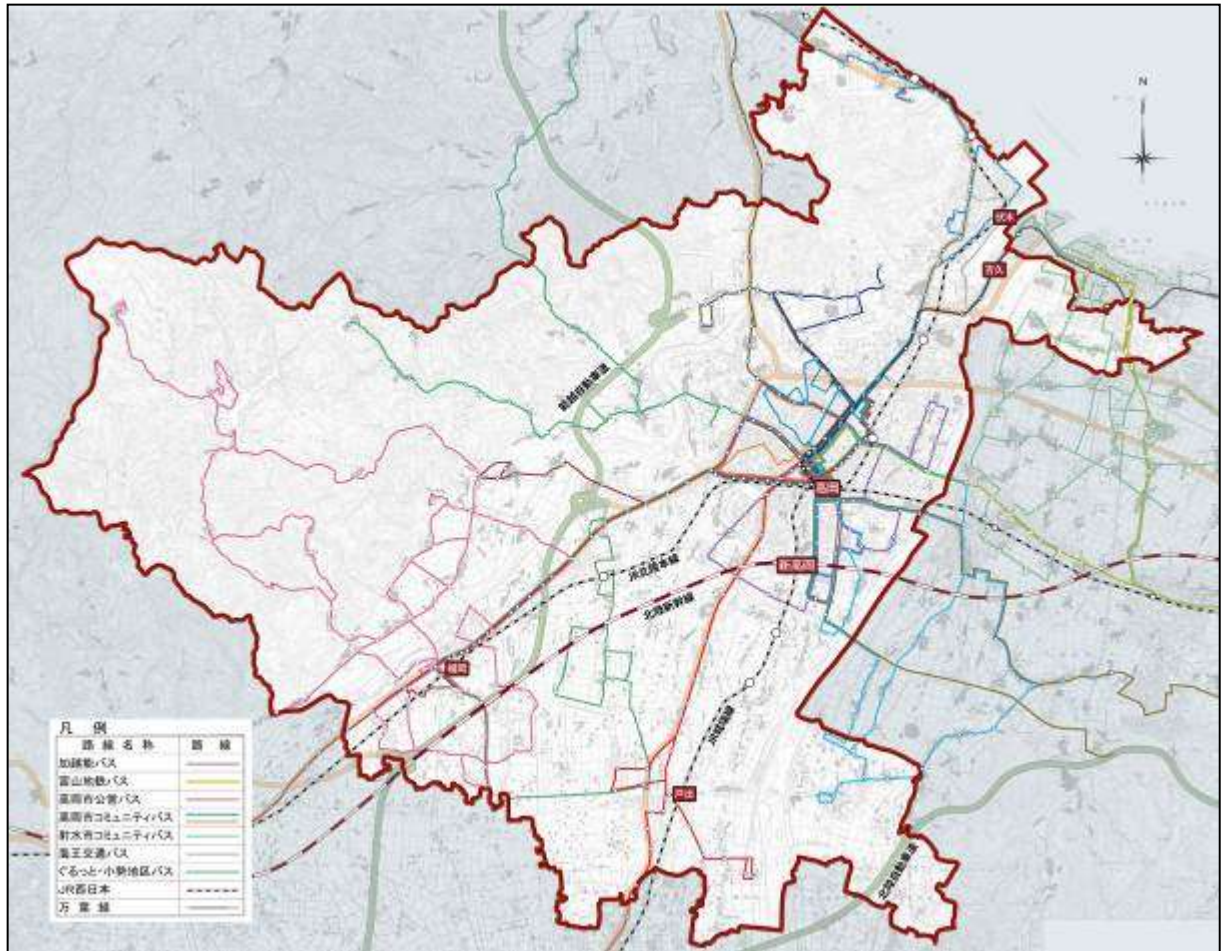
また、平成 27 年春の北陸新幹線開業、城端線新高岡駅の設置、JR 北陸本線の並行在来線化などにより、高岡市の公共交通は大きく変貌を遂げようとしている。

このような中、本市が今後目指すべき交通について、まちづくりと一体的に構想し、本市の公共交通の基本計画として、具体的施策としてとりまとめる「高岡市総合交通戦略」を策定したものの。

2 調査フロー：



3 調査圏域図



4 調査成果

■策定の目的

人口減少、少子高齢化などが進展し、公共交通の重要性が高まるなか、北陸新幹線の開業や JR 北陸本線の並行在来線化など、本市の公共交通は大きな変革期を迎えようとしている。

これを契機とし、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るもの。

■戦略の位置づけ

高岡市総合計画を上位計画とし、高岡市中心市街地活性化基本計画や高岡市都市計画マスタープラン等の関連計画を踏まえながら策定。

■戦略の策定経緯

高岡市公共交通ビジョン懇話会にて、市民・利用者の立場から、本市の交通とまちづくりの現状や課題を整理し、目指すべき将来像をとりまとめた。

その提言を踏まえ、高岡市総合交通戦略策定協議会にて、専門的見地から具体的施策等を検討し、パブリックコメントによる市民意見を踏まえ、高岡市総合交通戦略としてとりまとめた。

■戦略の対象区域

高岡市全域

■戦略の計画期間

平成 26 年度～平成 35 年度（10 年間）

（短期：平成 26～28 年度、中期：～平成 30 年度、長期：～平成 35 年度）

※社会情勢の変化等に応じて適宜見直しを実施

■目指すべき将来像

1. 他地域との広域交流による地域活性化をもたらす公共交通
2. 市内公共交通の利便性の向上と利用の定着化
3. 人口減少社会対応型都市構造にあわせて整備された交通ネットワーク
4. 恵まれた歴史・文化資産を活かす交通・観光ネットワーク

■戦略の理念

「公共交通からまちをかえる アクティブ交流拠点都市 高岡を目指して」

■戦略の基本方針（目標）

1. 都市の成長を高める広域交通体系の構築

大都市圏・飛越能地域・県西部地域それぞれとの交通軸の強化、広域交通拠点としての環境充実を図る。

2. 市内を円滑に移動できる交通体系の構築

都心・都市交通軸の強化、公共交通不便・空白地域の改善、観光を促進する公共交通の整備を図る。

3. 安全・安心な交通環境とサービス水準の向上

交通モード間の乗り継ぎ、交通施設等や情報提供手法の改善、公共交通を活用した賑わいの創出、環境に配慮した車両・施設の改善を図る。

4. 公共交通を利活用するライフスタイルへの転換

利用者意識の醸成、利用者へのインセンティブ強化、都市機能の集約化を図る。

■戦略体系・実施プログラム

【戦略1】都市の成長を高める広域交通体系の構築						
戦略名		実施事業名	事業主体	短	中	長
戦略1-1 大都市圏との交通軸の強化	①	北陸新幹線の未整備区間の整備	国			
	②	関西、中京方面への鉄道による利便性確保	交通事業者			
	③	東海北陸自動車道の暫定2車線区間の4車線化	国			
	④	関西方面への高速バス路線の整備	交通事業者			
戦略1-2 飛越能地域との交通軸の強化	①	飛騨地方への高速バス路線の整備	交通事業者			
	②	能登地方への高速バス路線の整備	交通事業者			
	③	能越自動車道の整備	国			
戦略1-3 県西部地域との交通軸の強化	①	県西部地域へのバス路線の整備	交通事業者			
	②	城端・氷見線地域公共交通総合連携計画事業の推進（城端線新高岡駅の整備等）	市、交通事業者			
戦略1-4 広域交通軸のハブ機能の構築	①	ハブ機能を持つ高速バス発着場の整備	市			
【戦略2】市内を円滑に移動できる交通体系の構築						
戦略名		実施事業名	事業主体	短	中	長
戦略2-1 都心交通軸の強化	①	万葉線の延伸	市、交通事業者			
	②	高岡駅・新高岡駅間のバス路線の整備	交通事業者			
	③	高岡駅・新高岡駅間のバス走行環境の改善	県、県警、市			
戦略2-2 都市交通軸の強化	①	バス路線の再編	交通事業者			
	②	生活路線バス・公営バスの維持	市、交通事業者			
	③	コミュニティバスの路線の改善	市			
	④	高岡駅・西高岡駅間での並行在来線新駅の整備	県、市			
戦略2-3 公共交通不便・空白地域の改善	①	デマンドバス・タクシーの導入	市、交通事業者			
	②	地域バスの導入支援	市			
戦略2-4 観光を促進する交通環境の充実	①	歩いて楽しいまちづくりの推進	市			
	②	レンタルサイクルの拡充	市、民間			
	③	公共交通を活用した観光企画の充実	市、交通事業者			

【戦略3】安全・安心な交通環境とサービス水準の向上						
戦略名		実施事業名	事業主体	短	中	長
戦略3-1 交通モード間の乗り継ぎ改善	①	ダイヤの改善・相互調整	交通事業者			
	②	公共交通のシームレス化	交通事業者			
	③	サイクル&ライド駐輪場の整備	市、交通事業者			
	④	相互利用可能な交通系ICカードの導入	市、交通事業者			
戦略3-2 交通施設等の改善	①	車両の改修、新型車両への更新	交通事業者			
	②	駅等の待合環境の改善	交通事業者			
戦略3-3 情報提供手法の改善	①	公共交通情報提供システムの整備	市、交通事業者			
	②	バスロケーションシステムの整備	交通事業者			
	③	高岡駅・新高岡駅における公共交通情報提供機能の充実	市			
戦略3-4 公共交通等を活用したにぎわいの創出	①	公共交通イベント等の実施	市、交通事業者			
	②	ラッピング車両の運行	市、交通事業者			
戦略3-5 環境に配慮した車両、施設の改善	①	環境配慮型車両の運行	市、交通事業者			
	②	車両、施設のエコ化	交通事業者			
	③	自転車通行帯の整備	市			
【戦略4】公共交通を利活用するライフスタイルへの転換						
戦略名		実施事業名	事業主体	短	中	長
戦略4-1 利用者意識の醸成	①	モビリティ・マネジメントの実施	市			
	②	公共交通利用誘導策の導入	市、交通事業者			
戦略4-2 都市機能の集約化	①	まちなかへの都市機能の集約	市			
	②	まちなか居住支援制度の推進	市			
	③	まちなかイベントの実施	市			

■評価指標・数値目標の設定

(基本的な考え方)

- ①総合交通戦略の体系に対応した指標・目標
- ②わかりやすく定量的な指標・目標
- ③効果計測が可能な指標・目標

	評価指標	算出方法	従前値	目標値
戦略1	①高岡駅及び新高岡駅の乗降客数	高岡駅・新高岡駅の1日あたりの乗降客数の合計	15,013人/日 (H24)	18,000人/日 (H35)
	②高速バス路線利用者数	本市を起点として、又は経由して市外に定期的に運行する県内高速乗合バス路線の利用者数の合計	152,281人/年 (H24)	252,000人/年 (H35)
戦略2	③公共交通利用者数	市内公共交通利用者数の合計	9,077,198人/年 (H24)	9,025,000人/年 (H35)
	④公共交通人口カバー率	総人口あたりの公共交通利用圏域に含まれる人口	79.1% (H22 国勢調査・H25 圏域)	83% (H35)
戦略3	⑤公共交通利便性の満足度	市民アンケート調査における各公共交通機関の満足度の総合点(五段階評定法)	2.77 (H25)	3.50 (H35)
戦略4	⑥公共交通利用率	市民アンケート調査における「通勤・通学」、「通院」、「買い物」、「趣味・レジャー」での移動手段に対する公共交通の利用率	11.20% (H25)	16.00% (H35)

■推進体制

高岡市総合交通戦略推進協議会（仮称）

◇戦略に位置づけた施策事業の推進

◇施策事業の評価・検証を行い、必要に応じて戦略の変更協議

【組織構成】

学識経験者、交通事業者、市民代表、経済団体、関係行政機関（国、県、警察等）、高岡市

高岡市総合交通戦略推進庁内会議（仮称）

◇戦略に位置付けた施策事業の推進

◇庁内での意見調整

【組織構成】

都市経営課、産業企画課、観光交流課、商業雇用課、都市計画課、駅周辺・新幹線対策課、道路建設課、土木維持課、地域振興課、地域安全課

■施策展開のマネジメント

施策の推進や定期的な計画見直しのため、高岡市総合交通戦略推進協議会（仮称）のもとP D C Aサイクル（計画策定～施策の推進～検証～改善）による進行管理を行い、段階に応じた市民とのコミュニケーションを図りながら、施策全体の実現に向けて取組みを実施。

